

◇ 事後アンケート結果

■参加学生9人(博士2人、修士5人、学部2名、男性8人、女性1人)。8人が回答。修士の1名が非回答。

■3人が進路として進学希望、5人が就職希望。

1)対話の内容は満足のものでしたか

- (6)とても満足
- (2)ある程度満足
- (0)やや不満
- (0)大いに不満

【理由】

- ・充実した良い議論が出来たと思う
- ・ベテランのコメントもいただきながら同世代と地層処分についての理解を深め、考える良い機会となった。
- ・普段関わることがないシニアの方々と対話することができた。
- ・これまで分野を引っ張ってきたシニアの方々から直接お話を聞いた。
- ・知見の豊富な方に専門的な話を聞いた。
- ・シニア、学生共に積極的に議論に参加していて、議論が深まったと感じたため。
- ・普段勉強しないトピックについて勉強できました。
- ・様々な側面で物事を見られたから。

2)今回の対話で得られたことは何ですか(複数回答可)

- (8)新しい知見が得られた。
- (0)マスコミ情報と今回の対話会情報に違いがあった。
- (2)自分の将来の進路の参考になった。
- (0)教育指導の参考になった。
- (0)特に新しい知見は得られなかった。
- (0)その他

【得られたこと】

- ・実際の施策と理想との乖離について知ることができた
- ・文献調査の進め方を詳しく学んだ。
- ・地層処分の現状と課題。
- ・地層処分に関する技術と決定の経緯について質問に的確に回答してもらえた。
- ・地層処分の新技術について、現在も研究されていること。
- ・国有地での処分場建設は法的には可能だが西側諸国では実行に移せない、等々の知見。
- ・なぜ、セメントが使われるのかなど材料へのこだわりなどが知れた！

3)学生とシニアの対話」の必要性についてどのように感じますか

- (7)非常にある
- (1)ややある

(0)あまりない

(0)全くない

【感じたこと】

- ・異なる世代では背景も大きく異なり、対話のメンバー、内容に多様性が生まれる。
- ・異なる年代の方々と対話することで、様々な視点で議論することができる。
- ・シニア世代との交流につながるため。
- ・学生が知らない、地層処分検討当時のお話など、貴重な話を伺えるため。
- ・必要、とまで強く言えるかはわかりませんが、参加して楽しかったです。
- ・今回のように新しい知見が得られる可能性があるから。

4) 今後、機会があれば友達や後輩に対話会への参加を勧めたいと思いますか

(6)勧めたいと思う

(2)勧めたいとは思わない

(0)どちらともいえない

(0)その他

【理由】

- ・誘っても来てくれるかわからない。
- ・分野にこだわらず様々な専攻の学生に参加してもらいたい。
- ・関心がある人には、勧めたいです。
- ・必ず為にはなるが具体的に何を得るかはその人が今までにどの程度真剣に原子力について考えたかによるため、難しい。

5) 放射線、放射能に対して伺います(複数回答可)

(1)放射線、放射能はやはり怖い。

(4)一定のレベルまでは恐れる必要はないと以前から知っていた。

(3)一定のレベルまでは恐れる必要がないことを講演、対話から理解できた。

(7)放射線、放射能は生活に有用であることを前から知っていた。

6) 原子力発電に対して伺います。

(0)原子力発電の必要性を強く認識した。削減又は撤退すべきでない。

(5)原子力発電の必要性は分かっていたので、認識は変わらなかった。

(0)原子力発電の必要性は分かるが、やはり危ないから早期に削減又は撤退すべきだ。

(0)原子力発電を止め、再生可能エネルギーを最大限使えばよい。

(3)どうすればいいかわからない。

【理由】

- ・再生可能エネルギーでは限界があるため。
- ・原子力について研究活動で学んでいるため。
- ・エネルギー源の選択は科学技術というより政治の領域であり、政治は私の専門ではないためよくわかりません。
- ・原子力は確かに二酸化炭素を排出しないがその分大量の温水を出すため地球温暖化防止という意味ではできてないのではないかと考えたため。

7) 2050年カーボンニュートラル政策は必要と思いますか

- (2)必要であり、実現可能である
- (4)必要であるが、実現するとは思えない
- (1)必要ない
- (1)分からない

【理由】

- ・ウクライナをはじめとして国際情勢は著しく変化しているので計画通りに進む保証はない。
- ・持続可能な社会を目指しているから。
- ・現状の技術では 2050 年までに間に合わないと感じている。脱石炭火力は進んでいるが、火力に頼ることはまだやめられないと感じている。
- ・同様に、政治は私の専門ではないためよくわかりません。もう少し勉強すれば、判断できるようになるかもしれません。
- ・地球温暖化や資源問題の観点から今のまま節約するだけでは解決しないから。

8) 世界的なエネルギー危機についてどのように認識していますか

- (3)大変厳しい状況である
- (4)厳しい状況である
- (0)それほど厳しいとは思わない。
- (1)分からない。

【意見】

- ・資源や技術の分布に偏りがある。
- ・温暖化によってガスや電気の使用量が増えると考えため。
- ・安定供給かつ環境に優しい技術が、現状確立されていないため。
- ・同様に、政治は私の専門ではないためよくわかりません。
- ・環境に配慮するようになり、私たちの生活はより厳しくなって、経済にも影響が出ていると考えるから。

9) わが国として 2050 年カーボンニュートラルの実現とエネルギー危機への対応はどうしたらよいとお考えですか？(複数回答可)

- (4)原子力を最大限活用すれば可能と思う。
- (3)水素燃料などへの燃料転換により可能と思う。
- (3)不安定な太陽光や風力には限界がある。
- (2)ロシアからの燃料は再エネと原子力で代替できる。
- (1)ロシアからの燃料の代替供給元を探す必要がある。
- (1)分からない。

10) 上記9)の理由をお書きください

- ・いつ何があるかわからないので電源構成は多様なものとしてロバスト性を担保するべきと思う。
- ・現実的に原子力発電は必要。
- ・原子力だけでも、その他再生可能エネルギーだけでも達成できないと考える。原子

力発電のみで電力を担うことは技術的には可能であるが、廃棄物や安全面から考えると難しい。

- ・同様に、政治は私の専門ではないためよくわかりません。
- ・原子力発電による、温水をより効果的に利用できるようになれば地球温暖化対策をしながら発電できるのではないかと考えている為。

11) 本企画を通して全体の感想・意見などがあれば自由に書いてください。

【意見】

- ・勉強になりました。ありがとうございました。
- ・企画誠にありがとうございました。勉強になりました。対話の時間を今の2倍くらいにしていただけると、もう少しゆとりを持って対話できたかな、とは少し思いました。今後ともよろしくお願い致します。

以上